

調布空港での事故原因については、現在もなお運輸安全委員会において調査中であるが、航空局において、現時点で事故に関連して取り組むべき課題について抽出し、課題ごとに検討すべき対策の方向性をとりまとめた。
 今後、関係者とも連携し、具体的な方策を検討していく。

課題等	検討すべき対策の方向性
1. 機長による出発前の確認の徹底(重量、気象情報、エンジン試運転等)	機長による気象情報の入手、飛行計画の作成、エンジン試運転等の基本的知識、確実な確認の励行等のための講習会等の強化
2. 機体・エンジン整備の徹底	自家用機整備を行う整備士に対し確実な整備の励行等についての講習会の実施
3. 自家用機の航空保険加入	保険加入の奨励、加入状況の確認
4. 情報サービスの提供	飛行中の航空機に対する既存の情報提供サービスの更なる活用の促進
5. 事業許可の適切な取得	事業許可取得に向けた指導の強化、啓発活動 航空機使用事業の許可取得に向けた情報提供の充実
6. 小型機を使用する事業者への施策の展開	上記1.及び2.の自家用機向け措置について、事業機にも周知徹底